

白夜 (1971)

QUATRE NUITS D'UN REVEUR

メディア 映画
ジャンル ドラマ
製作国 フランス
色彩 Color
時間 83分
初公開日 1978/02/25
公開情報 フランス映画社
リバイバル 2012/10/27 [エタンチェ] (35mmニュープリント)

【解説】

画家の卵であるジャックはある夜、セーヌに身投げしようとする少女マルトを助ける。彼女には一年前アメリカ留学に発った恋人がおり、二人が再会を約束したのがその晩だったのだ。青年は苦悶に沈む彼女を美しいと思った。そして、激しい愛の衝動につき動かされながら、努めて平静を装い、彼女の心が恋人から離れるのを望み、そこに罪悪感を覚える。'57年版と同じく、有名なドストエフスキーの悲恋小説を現代を舞台に翻案した、ブレッソンの覚醒した世界観を窺わず痛烈な作品だ。ヴィスコンティのロマンチズムはここになく、青年の盲愛が、彼の習性である思いのたけをミニ・テレコに吹き込むという形で、露骨に顕わになる様が見ていく苦しいほどだ。

【クレジット】

監督	ロベール・ブレッソン	Robert Bresson	
原作	ドストエフスキー	Dostoevsky	『白夜』
脚本	ロベール・ブレッソン	Robert Bresson	
撮影	ピエール・ロム	Pierre Lhomme	
音楽	ミシェル・マーニュ	Michel Magne	
	グループ・バトウーキ		
	クリストファー・ヘイワード		
	ルイ・ギター		
	F・R・ダビド		
出演	ギョーム・デ・フォレ		
	イザベル・ヴェンガルテン	Isabelle Weingarten	
	ジャン＝モーリス・モノワイエ		
	ジェローム・マサール		